令和7年度第2回　運営推進会議開催状況報告書

事業所名	地域密着型介護老人福祉施設「赤煉瓦の郷」
開催日時	令和 7 年 6 月 17 日（ 火 ） 14 時 00 分 ～ 14 時 20 分
開催場所	赤煉瓦の郷相談室（近江八幡市船木町59番地3）
参加者	地域住民代表者　　名　　事業所職員　3　名 利用者（家族）代表者　1　名　　知見者、民生委員等　1　名 行政職員　1　名　　その他（　　）　　名
議題	1. 施設長からの状況報告 2. 入居者数の現況報告 3. ユニット活動の状況報告 4. 提言・要望・質問等 5. 今後の開催について

会　議　録

1. 施設長からの状況報告
・施設で発生していたコロナクラスターは4月末で収束しました。
・5月に施設から病院に入院されたご利用者に検査で結核が確認されました。保健所に報告済み。
ご利用者・職員共に該当の症状が見られる方は現状おりません。
ご利用者に濃厚接触者はなし、職員は濃厚接触者8名で検査対応を待っているところです。

2. ユニット活動の状況報告
・レクリエーション活動についての報告。
・ご家族面会についての報告。通常通り行っています。
・虐待研修についての報告。
・アクシデント・ヒヤリハットの発生状況報告。

3. 入居者数の現況報告
・定員20床のうち在籍17名。（男性5名、女性12名）
・平均要介護度は3．4。
内訳は、介護度1（0名）、介護度2（0名）、介護度3（11名）、介護度4（5名）、介護度5（1名）。
・平均年齢は91．9歳。
内訳は、80～84歳（1名）、85～89歳（5名）、90歳以上（11名）。

4. 提言・要望
・事務主任　須亦
1～3月分のアクシデントの報告をこの6月にするのは何故ですか？4月はなかったですが。
奥谷ユニットリーダー
回覧している報告書が帰ってくるのが遅かったためです。
橋本施設長
介護記録ソフトでの入力など、何時でも見られるものでの対応を検討してください。

・近江八幡市介護保険課　方山様
インカムの導入を進めているとの事ですが、介助対応が他人任せになったりましませんか？
橋本施設長
インカムでの職員同士の連絡の仕方、言い方などはしっかりと指導が必要ですね。
近江八幡市介護保険課　方山様
結核の方がおられたとの事ですが、ちなみに今地域では感染性胃腸炎が多いそうです。
また急性呼吸器感染症も多いそうです。お気を付けください。

5. 今後の開催について（原則2ヶ月に1回定期的に開催。）
・次回開催予定日　8月19日（火）　14:00

令和７年６月１７日開催　運営推進会議　資料

（会議日現在　ご利用者数　単位：名）

１．入所状況報告（定員：２０床）

	現在	（男性）	（女性）	←	前回
利用者数	１７	（５）	（１２）		１８

新規入所者数１、退所者数２

２．要介護度別（平均要介護度：３．４）

区分	現在	（男性）	（女性）	←	前回
要介護度　１	0	（０）	（０）		0
要介護度　２	0	（０）	（０）		1
要介護度　３	１１	（５）	（６）		１０
要介護度　４	5	（０）	（５）		7
要介護度　５	1	（０）	（１）		0
その他（申請中等）	0	（０）	（０）		0
計	１７	（５）	（１２）		１８

３．年齢別（平均年齢：９１．９歳）

区分	現在	（男性）	（女性）	←	前回
７０歳～７４歳	0	（０）	（０）		0
７５歳～７９歳	0	（０）	（０）		0
８０歳～８４歳	1	（１）	（０）		2
８５歳～８９歳	5	（３）	（２）		5
９０歳～	１１	（１）	（１０）		１１
計	１７	（５）	（１２）		１８

運営推進会議

ユニットD・E

活動報告（現状報告）

4/17　鯉のぼり飾り作り（13時半～14時半）

5/11　的当てゲーム（13時半～14時半）

面会について

現在は15分制限・マスク着用はあるものの通常通りの面会を実施。

虐待研修

気付きシートによる自身の振り返り、問題点・改善点、それに対する評価を実施。

プライバシーの保護について、

トイレ時の扉またはカーテンが開いている場合があることについて対策実施。

トイレの扉の開閉具合の調整・カーテン位置の調整、

居室トイレ中は扉の外にトイレ中の札を立てることで扉を閉めたままの状態にする。

アクシデント・ヒヤリハット報告

1/20　左足第二・三指の間に2×2㎝の剥離を発見（10：00）

特浴入浴後、ベッド上にて着替えの際に出血を気付く。

出血の場所を確認すると左足第二・三指の間に2×2㎝の剥離を発見する。

NSに連絡しガーゼ保護と爪切りを実施。

対策

移乗時に足に当たるものがないかを確認をし、移乗時の衝突がないように気を付ける。

足の爪が伸びていたこともあり、爪が皮膚に引っかかった可能性がある。

入浴時などで爪の状態確認を実施する。

カンファ参加者：辻村CW、中井CW

1/22　転倒による左眉毛周囲に切り傷による出血（22：00）

センサーマットに反応がある為、職員訪室する。

扉を開けると同時に本人様が足を滑らせ転倒される。

頭部からの転倒であり、左眉毛周囲から切り傷による出血があるため止血する。

NS へ状況報告し、頭部を打たれているため救急搬送を行う。
対策
就寝後のベッドの高さが一番低い位置になっておらず立ちやすい状況であった。
立位が困難である方であるため、職員が駆け付けるまで座っておられるように
就寝時にはベッドの高さを一番低い位置にするように再周知する。
足の血色が悪い方である為、就寝時も靴下を履いたまま寝られる方である。
靴下のまま立たれた場合滑りやすい状況になる為、滑り止めが付いている靴下を用意する。

カンファ参加者：北 CW、奥谷 CW

1/29　新人職員のおやつ介助中のゴロ音発生。

新人職員に 15 時のおやつ介助をしてもらっていた。
介助途中よりゴロ音が聞こえるため提供を中止する。
口内を確認すると、おやつのムース食とお茶ゼリーが見えた為、ガーゼにてより除く。
その後、NS に連絡し状態確認をしてもらう。
その日の夕食は中止で様子を見ることとなる。
対策
新人職員に食事介助をしてもらう際には、指導者はその場を離れず介助の様子、
入所者様の変化を見ながらアドバイスを行う。
今回の場合、入所者様の飲み込むタイミングと介助のタイミングが合っていなかったこと。
また、その日は誕生日食であるため普段と異なるおやつ内容であった。
そのため、普段以上に注意が必要であった。

カンファ参加者：大森 CW、奥谷 CW

2/5　右腕皮膚剥離を発見（17：10）

痛そうな表情で右腕を擦っておられる。
服をめくり状態を確認すると右腕の皮膚が捲れて出血しているのを発見する。
午前中の入浴時より剥離部分が赤くなっておりゲンタシン軟膏を塗布し
アームウォーマーで保護をしていた。
発見する前まではベッドで横になっておられ、離床時には剥離されていなかった。
NS に状況報告し、ゲンタシン軟膏塗布とガーゼ保護をしてもらう。
対策
本人様がカーディガンを着られた時、

または剥離部分を擦って傷口を広げられた可能性が高いと思われる。
本人様自身がアームウォーマーの位置をずらされるので、
離床時にはアームウォーマーの位置の確認を行う。
また、入浴時には皮膚が弱っている部分の観察を行う。

カンファ参加者：辻村 CW、奥谷 CW、大森 CW

3/13　左足踵の上に内出血を発見（9：30）

入浴後、処置の為 NS に身体の確認をしてもらっていたところ、
左足の踵の上に内出血を発見する。
本人様には痛みがなくいつ出来たものかは不明。
対策
普段は老人車による歩行であるが、距離が長い場合には車椅子を使用している。
車椅子のフットレストに当たった可能性が高い為、車椅子への移乗時に注意を行う。

カンファ参加者：川嶋 CW、大宮 NS、中井 CW

5/1　右太もも裏に皮膚剥離を発見（13：10）

便座に座った後立ち上がる際に R パンツに血の付着を発見する。
出血場所を確認すると、右太もも裏に 3×3 ㎝の皮膚剥離を発見する。
NS に連絡し、ゲンタシン軟膏塗布とガーゼ保護をしてもらう。
対策
便座に座った際に、摩擦で皮膚剥離した可能性が高い。
便座に取り付けるクッションで便座の高さとクッション性を改善する。
立位が安定するように、持ち手の多い E 側奥のトイレを使用する。

カンファ参加者：奥谷 CW、田中 CW

5/24　医務、配役箱への薬の入れ間違いを発見（16：50）

夕方以降のの内服薬を看護師から遅出 CW へ受け渡しの際、
医務の配役箱において K 氏の薬が T 氏の場所に入れられていたのを発見する。
対策
医務室にて内服薬のセットをした際、ダブルチェックがされていなかった。

以後は、必ずダブルチェックを行い薬の入れ間違いがないようにする。

カンファ参加者：大宮 NS、四谷 NS、小澤 NS

アクシデント 7 件

以上

☑【1】事業所の運営状況の報告

- 利用者の人数・稼働率（定員と実利用者数）
- 職員体制（配置状況・欠員・入退職等）
- サービス提供の内容（通い・泊まり・訪問などの実績）
- 稼働実績（前回会議からの利用状況の変化など）

☑【2】事故・苦情等の報告と対応

- 事故・ヒヤリハットの発生状況（内容・件数・対応）
- 利用者・家族からの苦情や意見、その対応内容
- 予防策・改善策の実施状況

☑【3】サービス内容の質の向上に関する取り組み

- ケアの質向上への具体的な取り組み（研修、マニュアル整備など）
- 利用者アンケートや家族からの声への対応
- 地域との連携強化策（行事、イベントなど）

☑【4】感染症や災害対策の報告

- 感染症（インフルエンザ、新型コロナ等）の発生有無と対応策
- 防災訓練の実施状況
- 感染対策や防災マニュアルの整備・改訂内容

☑【5】今後の予定や課題の共有

- 今後の行事・イベント予定
- サービス提供における課題・改善点の共有
- 地域住民・関係者からの意見聴取と対応計画

☑【6】地域との連携・地域貢献活動の報告

- 地域住民との交流活動の実施（例：地域サロン、見学会など）
- 地域包括支援センター、自治体との連携状況
- 地域ニーズへの対応や地域支援に向けた方向性

☑【7】委員からの意見聴取とフィードバック

- 委員（利用者家族・民生委員・地域住民・包括支援センター職員など）からの意見や助言
- 意見を事業運営にどう活かすかの方針提示

📌 備考

- 会議は **少なくとも年に 2 回以上開催** し、その議事録は事業所で 5 年間保管する必要があります。
- 委員構成には、地域住民・利用者家族・自治会関係者・専門職（包括支援センター等）を含めるのが望ましいです。